

課題研究

単位数	4 単位	対象学年	3 学年	対象コース・クラス	情報ビジネス
使用教科書	高校生からのビジネスマナー（実教出版）	副教材等	高校生からのビジネスマナー（実教出版）		

1. 学習の到達目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネス諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

ビジネスに関する課題を発見し、解決策を探究して創造的に解決するなど、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を一層高めることを主眼としたものであり、(1) 調査, 研究, 実験 (2) 作品制作 (3) 産業現場等における実習 (4) 職業資格の取得の四つの柱を中心に、その時・その場に応じた授業（特に I C T 教材の利用）に個々が主体的に取り組んでいく。

3. 学習上のメッセージ

「課題研究」においては、職業人として求められる倫理や、経済社会の一員としての望ましい心構え、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度について学びます。社会人として必要なマナーやコミュニケーションに関する基礎的な知識・技能を、しっかりと身につけることを目的としています。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員として望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。
思考・判断	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
技能・表現	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している
知識・理解	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、経済社会の一員として望ましい心構えを理解している。

評価は具体的には次のものを対象とする。

- ①出席状況や授業における学習態度を評価する。
 - ②課題の提出状況や仕上がり具合を評価する。
 - ③実技試験を評価する。
 - ④広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況。
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に判断して決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	副教材項目	指導内容と評価のポイント
1 社会人の心構えと働き方		<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事のルールと自己管理について ・ 働く姿勢について など全般的に学習します。
5 就職活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き始めるまでの流れ ・ 業界研究と企業研究 など全般的に学習します。
2 ビジネスマナー		<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶とお辞儀 ・ 身だしなみの基本 など全般的に学習します。
3 ビジネススキル		<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスコミュニケーションの基本 ・ プレゼンテーション など全般的に学習します。
4 ビジネス関連知識		<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の役割 ・ 企業の経営組織 など全般的に学習します。
確認テスト		学習内容の確認のため、定期的にテストを行い、理解度の確認をします。

